

有田川町議会広報

かわら版

第60号

令和3年2月発行

QRコードから
議会の情報
をご覧ください



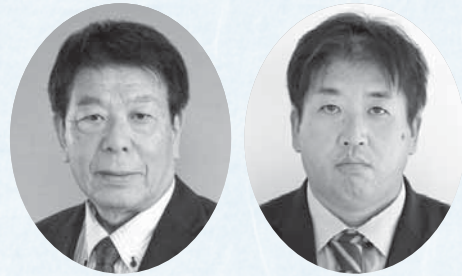
有田川町議会 検索



●発行／有田川町議会 ●発行責任者／議長 森谷 信哉 ●編集／広報広聴常任委員会 ●印刷／協栄印刷

〒643-0021 和歌山県有田郡有田川町大字下津野2018番地4 TEL：0737-22-3294(議会事務局) FAX：0737-52-2198

議会の役割を全力で果たす



議長 森谷 信哉
副議長 片畑 進之

申し上げます。

また現在、医療現場で奮闘していただいている医療従事者の皆さまには、あらためて感謝を申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。
日頃から町行政ならびに議会活動にご理解とご協力をいただき心から御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、世界中の方々が新型コロナウイルスにより、生活のさまざまなところで影響を受けた1年でありました。

お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、療養中の皆さまに心よりお見舞いを申

グローバル化が進む現代、感染症対策と経済対策の両立をしなければ住民の生活や生命が守れないという難問に直面しています。一刻も早い終息を願うばかりであります。

感染症対策には多額の財政支出が必要であり、その影響で本町の行財政運営も一層厳しくなると予想されます。

そうした中、私たちは、議会としての役割を全力で果たしてまいります。

本年も変わらぬご支援とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

一般質問

7人の議員が登壇



～ 議場改修 ～

吉備庁舎大規模改修に伴い議場も改修されました。新たに質問席を設置。また、音響・カメラを改修。令和3年中に本会議の「録画配信」も予定しております。

殿 井 堯	次期町長選挙の出馬は	P 3
佐々木 裕 哲	今年のコスモスパークの評価は	P 4
椿 原 竜 二	来年度の予算編成は	P 5
岡 省 吾	山間地域活性化に向けたビジョンは	P 6
小 林 英 世	自然を破壊する自然エネルギーはいらない	P 7
増 谷 憲	新型コロナウイルス対策の充実を	P 8
堀 江 眞智子	道路維持修繕の方向性は	P 9

(おもな質問項目を掲載しています)

次回、令和3年第1回定例会の一般質問は、3月16日、17日を予定しています。



殿井 堯

次期町長選の出馬は

問 中山町長は次期町長選に出馬される意思はあるのか。また抱負はどうか。

答 多くの皆さんから「やり残した課題があるからやり遂げよ」と言われている。

現在、環境センター、潮光園、し尿処理場の建設や新型コロナウイルス感染症に関連した経済対策、清水地域の活性化対策など重要な課題があるので5期目をめざしたい。

町民の信託・信任を得られることができるのであれば全力を尽くす。

コロナウイルス 対策は万全に

問 感染症に取り組む町長、副町長の姿勢はどうか。

答 「町長」

国が実施する緊急経済対策や町の応援クーポン配布および緊急持続化給付金などを実施してきた。

さらに第2弾のクーポン配布事業などを計画している。町民の生活を守り、町内の経済的影響を軽減できればと考えている。

答 「副町長」

有田振興局や湯浅保健所と連携し、診療検査体制構築の協議、医療体制の情報交換、感染者の退院後ケアなどを実施する。

経済対策は、国や県の事業を取り入れていく。



有田地方休日急患診療所（小島地内）

問 感染症対策における各部署の取り組みはどうか。

答 「教育部長」

教育現場では今まで経験したことがない長期休業や、夏休みなどの短縮、時間割の変更、分散登校などが求められてきた。

このようなコロナ禍の中で子どもたちが、「自分がすべきこと」「できることは何か」を校長会で協議した。履修の遅れは取り戻している。

修学旅行は行き先を変えて実施している。

答 「産業振興部長」

町独自の緊急持続化給付金や応援クーポン配布事業を実施してきた。今後も、商工会などと連携し、情報を把握しながら状況に応じてコロナ対策をとっていききたい。

答 「福祉保健部長」

有田地方休日急患診療所に有田地域有執者検査センターが12月1日から開設された。かかりつけ医からの

要請があれば、毎週水曜日と木曜日の13時から15時30分まで、新型コロナウイルスとインフルエンザ用の検査キットにより迅速な検査ができるようになった。また町内の開業医でも対応してくれるところがある。

問 乳幼児の受診体制は。

答 乳幼児の受診体制は、かかりつけ医に電話で相談することにより、必要な対応や検査先を紹介してくれることを町ホームページに掲載している。また、町独自に産前産後ケア事業でも周知している。

問 クラスタが発生したときの対応は。

答 休日急患診療所、有田医師会、湯浅保健所での対応や他の医療機関での受診が、今後できるように要望していく。

今年の コスモスパークの評価は



佐々木 裕哲

問 昨年12月の一般質問で「コスモスパーク」の開花状況が悪い原因を質し、改善策を提案した。

答 今年の開花状況と来園者数、評判はどうだったのか。

答 春先に土入れを一部行った結果、開花状況は近年まれにみる良い状態で、大変好評であった。

また、インスタグラムなどのSNSにおいて、多くの方に情報を拡散していただいた。10月の開花時期だけでも約1万2千人の来園者があり、昨年の1.8倍になった。



問 来年も引き続き土入れを行う予定はあるのか。

答 今シーズンの休日は駐車場だけでなく、途中の道路も大変混雑した方がいた。建設課と協議しながら今後、対応策を検討していきたい。

問 「コスモスと風の館」周辺の雑木や竹が大きくなり、眺望に支障をきたしている。伐採してはどうか。

答 来年の開花時期までに雑木などを伐採し、見晴らしを良くする。

問 田角区からコスモスパークまでの道路は、幅員が狭いので、退避所やUターンできる場所を設けてはどうか。

答 シーズンの休日は駐車場だけでなく、途中の道路も大変混雑した方がいた。建設課と協議しながら今後、対応策を検討していきたい。



コスモスパーク

問 コスモスを見て帰ってもうただけでなく、出店や商品の販売ができる体制を考えられないのか。

答 商工会や観光協会と相談する。

コロナウイルス 対策は万全に

問 町内の事業所、特に飲食業や観光業などに影響が出ている。

答 国や県の動向、国からの交付金などに配慮しながら、状況に応じて支援策を考えていく。

問 有田川町では、経済対策として応援クーポンの配布を次回も計画している。

答 長引く影響と対応策をどのように考えているのか。

多くの方が職を失ったり時間短縮などにより、収入減に苦しんでいる。

現状をどのように把握しているのか。

答 経済産業省による中小企業者への資金繰り支援制度を見ると昨年は申請が1件であったものが、今年は3月以降急増し、229件の申請となっている。観光業や飲食業にとどまらず、社会全体に影響が広まっている。



樺原 竜二

来年度の予算編成は

問 新型コロナウイルスによる税収への影響は避けられない。本町ではどのように捉えているか。

答 現時点ではどのくらい影響があるか試算するのは難しいが、町民税や固定資産税で、約4700万円の減収を見込んでいる。

問 町民の生活や地域経済を守るため、確実な財源確保と持続可能な行財政運営が求められる。

答 新規事業の抑制や既存事業の見直しを行う。また、最終的には基金の取り崩しも視野に

入れている。

問 保育の需要が高まった場合、対応は可能なのか。

答 保育が必要な方には、適切な保育が提供できるように保育士の確保を行いながら対応していく。

問 限られた予算的確保な優先順が求められる。

答 来年度の重要施策はどのように考えるか。地方創生推進交付金事業や移住定住事業などを重点施策として編成する。歳入面では、ふるさと応援寄附金の増収を図る。

問 ふるさと応援寄附金の増収に向けた体制や取り組みは。

答 来年度より担当部署を設け、20億円を目標に取り組む。

不幸な猫をなくすために

問 犬や猫の無秩序な繁殖を抑制し適正な飼育管理を目的として「避妊去勢手術費用補助金」事業が昨年より開始されたが実績は。

答 左表のとおり。本年度は11月に予算額に達し受付を終了。

	令和元年度	令和2年度
犬（去勢）	0件	5件
犬（避妊）	2件	6件
猫（去勢）	6件	19件
猫（避妊）	6件	24件
合計	14件	54件

問 本年度、実績が急増した理由は。

答 春の狂犬病予防接種時や動物病院への周知チラシで広報を行った。



問 広報で実績が急増したということは、確実にニーズがあると考えられる。

答 来年度はどのように取り組んでいくのか。みだりに繁殖して不当に捨てられることを防止するためにも、住民の要望を踏まえながら増額なども検討していく。

問 県の「地域猫対策」に対する町長の認識と考えは。

答 県や個人が地域猫対策計画を作成し、認定されれば「捕獲おりの貸出」「避妊去勢手術費用の助成」などの対象となる。

和歌山県の「地域猫対策」と、町が行っている飼い猫に対する補助事業を進めることで、不幸な猫をなくしていきたい。

※その他「有害鳥獣捕獲後の処理について」の質問を行いました。



山間地域活性化に向けたビジョンは



岡 省 吾

問 今年度から取り組んでいる「地域再生マネージャー事業」の目的と、山間地域活性化に向けた今後の対応をどのように考えているのか。

答 山間地域活性化には地域住民の主体的な動きが大切であり、この事業はその「きつかけづくり」「人づくり」を行うことが目的。おもな動きとして「しみず温泉の再整備」「児童保護者を中心に公園を活用するまちづくり」「清水地域事業者による雇用対策」の3点が挙げられる。住民主体の動きを支援していくため、来年度も



移設を協議している「しみず温泉」

引き続きこの事業を活用しながら、行政としても精一杯サポートしていきたい。

問 老朽化している「しみず温泉」改修の方向性はどうか。

答 地域の皆さんで検討会を組織し、協議が進められている。改築するより新たな場所での新設するのが望ましいとの結論。現在は候補地の選定に入っている段階。

今後、安全面や眺望、「宿泊あさぎり」からのアクセス、工法、コ

スト面など、専門家の意見も参考にしながら建設予定地を決定し、早急に設計に着手したい。

問 現在、源泉の温度はどのくらいか。

答 22・8℃である。

問 源泉からの距離やお客さんが訪れやすい動線を考えることが重要である。

答 候補地は検討会が中心となり決定されることと思うが、その点の認識はどうか。

答 その旨、検討会に申し入れる。

問 強く要望されている清水地区の公園整備の考えは。

答 「身近で気軽に立ち寄れる憩いの場」の整備について、平成30年に清水区長名で要望をいただいている。早期実現に向け、地域の方々とともに行政も協力し、まずは候補地の選定を早急に進めたい。

問 いまだに候補地の選定ということで、あまりにも遅い。警沢な公園を求めているものでもない。

答 当初予算に計上できるくらいのスピード感を持って整備できるよう取り組むべきでは。

問 場所選定もほぼ目途がつくところまできたと聞いている。早急に整備できるように努める。

答 昨年11月、清水地域の事業者数社が集まり、雇用対策に関しての協議が始まった。

問 移住就業支援拠点の整備に関して、方向性はどうか。

答 現在、移住や就業、起業などを支援する「拠点・滞在施設」と



「あさぎり」から望む清水のまちなみ

して、遊休施設を改修整備し、その運営に関しては各事業者が出資して設立する共同事業体が行う方向となっている。



小林 英世

自然を破壊する 自然エネルギーはいらない

問 白馬山脈に予定されている風力発電の現状は。

答 現状は左表の通り。

事業名と事業者名	現 状	最大出力
中紀ウインドファーム (コスモパワー)	23基中19基組み立て完成 令和3年4月送電開始予定 令和3年7月竣工予定	48300kW
中紀第二ウインドファーム (コスモパワー)	方法書 環境審査段階 (中紀ウインドファームの東)	51000kW
紀中ウインドファーム (電源開発と住友林業)	配慮書提出後、3社で協議	86000kW
DREAM Wind和歌山有田 川・日高川風力発電事業 (大和エネルギー)	配慮書提出後、3社で協議	35070kW
DREAM Wind和歌山有田 川・日高川風力発電事業 (電源開発と大和エネルギー)	3社で協議の結果、事業者を電源開発と大和エネルギーとする 1月に方法書の縦覧 2月に説明会を予定	35070kW

二つの事業が一つに

問 二つの計画が一つになったことをいつ聞いたのか。

答 12月8日に聞いた。

問 今後の予定は。

答 1月29日に方法書を提出できるよう準備していると聞いている。

問 風車の建設に至るまでの手順は4段階あり、現在はそのうち2段階まで来ている。この現状を町長はどう考えているのか。

答 町は建設をやめよとかいう立場ではないが、多くの町民が反対している。町民の同意なしにやらないよう事業者に伝えている。

問 風車はどんどん巨大化している。それによる自然破壊もどんどんひどくなる。自然破壊を伴うものは自然エネルギーとはいえない。町長は自然エネルギーの活用をまちづくりの大きな柱としていた。自然エネルギーも大切だが自然を守ることも大切だと強く発信してほしいがどうか。

答 巨大風車の環境への懸念は同感だ。機会があれば話をしたい。

押印を減らし デジタル化を進め ペーパーレス化へ

問 押印を減らす動きをどうとらえているのか。

答 国は、婚姻届や離婚届、国税関係書類の押印を原則廃止の方向で検討していると聞いている。本町でもこれらに関係する事務について、押印廃止の方向で検討したい。

問 印鑑省略の課題は。

答 手続きの簡略化につながるが、本人確認作業がより重要になる。

問 デジタル化の現状はどうか。

答 平成24年度から財務書類と文書の一部に電子決裁システムを導入している。遠く離れた庁舎間の文書処理を迅速に行うためだが、文書のデジタル化やペーパーレス化につながる。

っている。

問 電子決裁とはどのようなものか。

答 本町には地理的に離れている三つの庁舎がある。紙媒体だと職員移動に時間がかかり紛失の恐れもある。導入には5850万円、維持費は毎年340万円必要。各庁舎が地理的に離れていなければ導入していない。

問 テレワークはどのように取り入れるのか。

答 出張時の使用などを考えている。出張先から電子決裁ができれば、作業効率が大きく向上する。

問 教育現場の現状は。

答 本町の小中学校全校は、ネットワークでつながっている。また、2年前から校務支援ソフトを導入し、ペーパーレス化に取り組んでいる。

人の命や自然環境を 守ることが一番大切



増谷 憲

問 社会福祉協議会が行う「小口資金（無利子貸付）」などの支援事業は12月末で終了となっている。引き続き

答 陽性反応が出た場合、休日急患所は保健所に連絡する。保健所は、検体を県衛生研究センターに運びPCR検査を行う。

問 簡易キットで陽性になればPCR検査をするのか。

答 国保に入っている人で4050円となる。

問 有田地方休日急患診療所でコロナウイルス検査とインフルエンザ検査を同時に行うと個人負担はいくらか。



社会福祉協議会の講演会

問 発電事業者が電気買い取り制度を適用されるには、方法書を提出してから何年何月

答 何の連絡もない。周辺住民に事業説明をしていないので、誠実に事業説明する意思があるのか疑わざるを得ない。

問 海南・紀美野風力発電事業者の動きはあるか。

新規の風力発電所 計画はやめよ

問 水道基本料金の減免継続はどうか。

答 国保税は国や県の動向をみて対応する。固定資産税増額分は、据え置く方向で検討中という情報がある。

問 国保税減免の継続や固定資産税の減免はどうか。

答 二つの事業計画が一つの計画になった。3200kW級の風車が最大12基の計画となっている。

問 白馬山の峠付近から東方面への新規風力発電計画は、どのように進んでいるか。

答 令和3年3月30日である。また事業認定後8年以内に運転を始めるためには、買い取り制度適用期限後の期間、制度の算定に入らない。



建設中の風力発電施設

※その他「高校再編計画について」教育長の認識を問う質問を行いました。

答 自然の大切さということを知事に話す。

問 白馬山から東方面には貴重なブナ林があり、大切な自然環境を形成している。知事もこの自然は壊さず後世へ伝えるべきものと指摘している。これ以上計画を進められないために、予定地周辺を県有林として残すよう県に働きかけてはどうか。



堀江 眞智子

道路維持修繕の方向性は



問 吉見から東丹生間の道路は、路肩がへこんだり、舗装が剥がれてしまったりした状態で長期間放置されている。

答 早急な補修が必要であると判断し、舗装補修工事の発注を準備

中。今年度中に完了したい。

また、吉見奥線も修繕していく。

警報発令を旧町単位に

問 広い面積の本町は、旧町単位で気象や災害の状況が異なる。

今年7月、警報のため2日半学校が休校となった。しかし、そのうちの2日間は吉備・金屋地域で「なぜ警報？」と思うほどの気象状況であった。

子どもたちの学びを保障するためにも旧町単位での警報発令に変えてほしいのか。

答 気象台と情報を共有しながら協議していきたい。

御霊学童保育への支援は

問 御霊学童保育所は定員がいっぱいであり、新1年生の募集ができない状態だ。

来年度に新1年生の受け入れができるよう、施設確保や増築などの計画は行っているのか。
答 御霊小学校の中で、学童保育ができる臨時の措置をとる。
「子育てのまち有田川町」に恥じないよう施設建設に向けて努力する。

風力発電に規制条例を

問 風力発電は、大規模化し環境破壊や身体への悪影響などが心配されている。

地域住民の中に反対の声が上がっている。「白馬山の新風力発電計画」について、知事が計画の抜本的見直しを含めた厳しい意見を出した。どう認識しているか。

また、住民が安心して暮らせるよう、町で規制条例を作ってはどうか。

答 町は自然破壊や災害、特に生活環境や眺望などを危惧する観点から県に意見書を提出した。

知事からは事業者に非常に厳しい意見書が出されている。

事業者には常に地域住民の安心と安全、十分な説明と理解を得るように要望や指導をしている。規制条例は研究していく。



第2弾 有田川町 応援クーポン 2月上旬から 配布決まる!

令和2年第4回定例会は、12月2日から15日までの日程で開催しました。

査特別委員会に付託された令和元年度一般会計決算、各特別会計決算も原案の通り可決しました。

本定例会に提案された議案および、決算審

(単位：万円)

項 目	金額	一般会計補正予算のおもな事業内容
総務費	報償費	5600 ふるさと応援寄附金返礼品（令和2年の全体分）
	使用料	1614 ふるさと納税返礼に係る仲介手数料
	過疎対策費	40 定住奨励金（単身12件、世帯3件を見込む）
民生費	修繕料	48 藤並老人憩いの家のエアコン修繕
衛生費	消耗品費	200 小中学生用にマスクを購入（約2000人分）
	備品購入費	100 多人数が集まる場所に設置するサーマルカメラ3台購入
	委託料	1759 高齢者（65才以上）インフルエンザ予防接種委託料
商工費	商工総務費	26300 有田川町応援クーポン配布事業（第2弾）
	観光費	86 札立峠公衆トイレのタンクろ過機修繕
土木費	備品購入費	365 建設課自動車購入費（2台分）
消防費	消防施設費	144 消防団詰所（川合地区）屋根修繕
教育費	工事請負費	6160 石垣小学校トイレ改修（洋式トイレに）
	備品購入費	563 町内小学校の机・イス購入など
	図書館費	325 ちいさな駅美術館に少年センター事務所が移転するため改修
諸支出金	積立金	14000 ふるさと応援基金積立金



ちいさな駅美術館（藤並駅内）



石垣小学校



川合 消防団詰所



サーマルカメラ

問 この事業は民間事業所に頼っている部分がある。支援をしてはどうか。

答 新型コロナの影響で利用日数が増えたこと。また、休日単価での請求による追加。

問 児童発達支援事業給付費補助金、今回60万円の追加内容は。

答 給付金事業で不公平があつてはならないと考えている。国の第3次補正による「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」で対応したい。

問 「有田川町緊急持続化給付金」が1億8560万円の減額補正となっている。

答 国の「持続化給付金」が対象となつている事業者には、同等の支援を行う追加施策を考へるべきではないか。



問 前回の「有田川町応援クーポン」は月2回の換金処理で、事業者の立替が多額になるとの声が多かつた。第2弾ではどのように考へているのか。

答 月3回の換金で対応していく。

条例の制定・一部改正

国民健康保険税

条例の一部改正

問 改正内容とその理由は。

答 平成30年度の税制改正で給与所得と、公的年金の控除を10万円引き下げ、町県民税の所得控除を10万円引き上げた。給与所得・公的年金所得が10万円増えることになり、国保の軽減世帯の方が軽減判定で不利益となる。その不利益を解消するため。

問 条例の改正により、不利益が解消される人数は軽減別でどうか。

答 11月末現在で、
7割軽減 113人。
5割軽減 167人。
2割軽減 74人。
合計 354人。

後期高齢者医療に関する条例の一部改正

監査委員条例の一部改正

町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定

※詳しい内容は、15ページの総務文教福祉常任委員会報告をご覧ください。

地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

※詳しい内容は、15ページの総務文教福祉常任委員会報告をご覧ください。

火災予防条例の一部改正

計画の策定

新町まちづくり計画の変更計画の策定について

※詳しい内容は、15ページの総務文教福祉常任委員会報告をご覧ください。

教育長の任命同意

片嶋 博氏(庄)



委員の任命・選任の同意

教育委員会委員の任命

上田 恵里氏(天満)



固定資産評価審査委員会委員の選任

栗生 幸也氏 (東丹生園)

中井 理自氏 (上六川)

大江 彰一氏 (久野原)

道路線の認定(2件)



町道1017号線 下津野 (延長78・09m、幅員6m)



町道吉田青田線 小川 (延長324.8m、幅員5m)

指定管理者の指定

指定管理とは、町が保有する施設の運営を指定した団体に任せることです。指定期間は5年間としています。いずれの施設も前回指定の団体に引き続いて管理運営を任せることになりました。

施設名	指定管理者
あらぎの里	清水町農林産物加工直売組合
明恵ふるさと館	かなや農林産物加工直売組合
林業活性化センター	修理川区
しらまの里	宇井苔区
しみず温泉健康館 あさぎり本館 あさぎり別館 泉水 スポーツパーク 遠井キャンプ場 コテージ やすけ 左太夫	一般財団法人 有田川町ふるさと開発公社

長期的な展望に立った 財政運営を要請！

決算認定

令和元年度の決算額は、一般・各特別会計合わせて、歳入総額267億4,916万円。歳出総額は261億5,889万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支総額は、4億7,717万円の黒字となりました。

町財政は、国の財政指標に当てはめると、おおむね良好と判断されるが、経常収支比率は93.1%で、前年度と比較して0.1ポイント増加し、財政の硬直化が懸念されます。より一層の合理化推進および長期的な展望に立った財政運営を要請し、全議案を認定しました。

令和元年度 各会計の決算状況

会計区分		収入済額	支出済額
一般会計		162億4,442万円	157億8,643万円
特別会計	国民健康保険事業特別会計	36億2,541万円	36億1,534万円
	介護保険事業特別会計	31億9,824万円	31億766万円
	後期高齢者医療特別会計	7億4,240万円	7億3,336万円
	簡易水道事業特別会計	6億1,469万円	6億1,335万円
	農業集落排水事業特別会計	2億7,444万円	2億7,444万円
	かなや明恵峡温泉特別会計	6,629万円	6,629万円
	特別養護老人ホーム等事業特別会計	3,431万円	1,557万円
	公共下水道事業特別会計	19億3,615万円	19億3,615万円

基金

	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末
財政調整基金	40億8,220万円	40億9,524万円	41億3,063万円
減債基金	18億4,647万円	12億2,092万円	8億1,448万円
その他目的基金	68億5,733万円	68億6,043万円	72億3,812万円
合計	127億8,600万円	121億7,659万円	121億8,323万円

地方債残高

	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	
一般会計	210億8,149万円	191億3,679万円	175億1,953万円	
特別会計	公共下水	84億6,759万円	88億3,658万円	91億5,034万円
	農業排水	14億7,499万円	13億5,281万円	12億2,799万円
	簡易水道	27億4,477万円	25億5,611万円	24億975万円
	簡易排水	509万円	457万円	403万円
	浄化槽	3,101万円	2,787万円	2,546万円
	合計	127億2,347万円	127億7,796万円	128億1,759万円
合計 (一般+特別)	338億497万円	319億1,476万円	303億3,712万円	

一般会計決算額を
町民一人あたりに
換算すると…

町税負担額は

11万9,134円

町債残高(借金)は

66万7,360円

基金額(貯金)は

46万円

※人口 2万6,252人
(令和2年3月末現在)

各部署に対し、数多くの質疑がありました。誌面の都合上、一部抜粋して掲載いたします。

総務政策部

問 周遊定額タクシーの予算は200万円で、実績は2万4780円と非常に少ないのはなぜか。

答 広報不足と考える。ニーズはつかんでいるのか。利用しにくいことを認識しているのか。

問 ニーズはつかんでいるのか。利用しにくいことを認識しているのか。

答 利用しやすいように事業者と協議したい。合併特例債の発行はいつまでできるか。

問 最終は令和7年度発行可能額は、7億7200万円。



問 農材部など部分的に放送ができるのなら、検討すべきではないか。

答 再度、検討していく。

時報が鳴らなくなった。町民への説明は。

答 現在は17時のみである。区長会で説明し、住民には回覧で周知している。

問 なぜ鳴らさなくなったのか。元に戻せないのか。

答 学校にも施設を設置している。一部支障をきたすことから関係者と協議した結果、緊急通報以外は16時以降に放送するように決定した。

消防本部



問 国の消防力基準で、職員は何人必要か。充足率はどうか。

答 94人の基準に対して67人の職員。71.3%の充足率である。

問 消防団員報酬は、有田川町1万8千円、湯浅町1万9千円、広

川町2万7千円、郡内で同額にならないか。

答 統一するのは難しいが、検討していきたい。

住民税務部

問 国民健康保険税の滞納世帯数は。

答 291世帯。

問 公費負担で人間ドックと脳ドックの両方を受けることはできないのか。

答 どちらかの受診でお願いしている。

問 町独自で子ども医療費を無料化（小学生から高校生まで）している。

答 国民健康保険にかかるとのペナルティ（補助金の削減）はどのくらいか。

答 町独自の医療費無料化事業を行うことで、約188万7千円減額されている。

産業振興部

問 有田養鶏組合への補助額は約3400万円。

答 総事業費はいくらか。総事業費は、5棟全体で約5973万円。当初の予定では、国庫補助金約2986万円、町補助金約461万円、残りが自己負担金。

問 この件の経緯はどうなっているのか。

答 事業者の経営が破綻し事業が継続されていないため、国庫補助金の交付を取り消された。

現在、組合に補助金返還請求を行っている。

問 財産など、差し押さえたものはあるのか。

答 銀行が宅地・建物を差し押さえしている。

問 預金の差し押さえはできるのか。

答 預金がなく、難しいと考えている。

問 交付決定されていた国庫補助金を、予定通り交付するよう国に交渉しているのか。

答 不交付決定を取り消すことはできないとのことである。



木製ガードレール

問 値段の高い木製ガードレールを使う理由は。木材を使用することで風情・景観に配慮し、宣伝にもなる。

建設環境部



大沼トンネル（大蔵～沼谷）

問 林道整備事業の進捗状況は。

答 峠上二澤線2143m。日物川境川線2831m。

問 完成はいつか。

答 峠上二澤線は令和6年度、日物川境川線が令和7年度を予定。

問 大沼トンネル改修工事はいつまでか。総事業費はいくらか。

答 令和10年度に完了を予定。事業費は約4億円。

問 道路区画線が消えているところは町が整備すべきではないか。

答 原則は区長からの要望が必要。ただし、規制箇所は総務課から公安委員会へ連絡する。

問 令和2年度末で公共下水道総事業費はどのくらいになるか。

答 約190億円の見込みである。

問 計画中の事業を含めて総事業費見込み額は。

答 約290億円と見込んでいる。

教育部



ウォークスルー

問 子ども議会は元年度に開催していない。これまで4回開催したが、今後の方向はどうか。

答 議場へ入るだけでも価値があり、学習のメリットになる。元年度は都合がつかなかった。次年度以降で小学校も含めて考えていきたい。

問 アレックのウォークスルーの利用状況はどうか。

答 図書カードをウォークスルー対応に切り替えたのが6514枚。

問 ウォークスルーは誤作動が多いと聞く。誤作動率は、改善しているのか。

答 最初は3割の誤作動があった。感度の良いカードへ交換している。



以前開催の子ども議会

福祉保健部



問 虐待相談は何件か。

答 全体で62件。

問 発達支援事業所は何力所あるのか。

答 未就学児は「おひさま園」「なのはな園」の2カ所。就学児は、町内で「まごころランド」「カラフルビーンズ」、町外で「そよ風」「ダック」がある。

問 電動アシスト3輪車の実績は1人で、予算は100万円以上。事業としての認識はどうか。

答 需要が分からない状態で予算化したが、予想より少なかった。

問 周知が足りないのではないか。

答 広報していく。

問 母子手帳アプリの利用は対象者全員か。任意なら利用率はどのくらいか。

答 任意で利用率は約3分の2。



森林環境譲与税で新規事業を

—産業建設住民常任委員会—

12月3日（木）に委員会を開催し、所管課より説明を受け協議しました。

●「有田川町内産材」認定事業（林務課）

来年度より「有田川町内産材」使用の新築家屋などに補助金を出します。

予算や材質などに関して質疑を行いました。

●しみず温泉老朽化対策（商工観光課）

しみず温泉検討会が移設の方向で検討中と

報告を受けました。

移設場所、計画性、安全性、コストなどを協議しました。

●有田川町林業従事者就業奨励金支給事業（林務課）

林業の新規就業者を支援します。

予算や対象者について質疑しました。

●高収益作物次期作支援助交付金（産業課）

国の事業内容変更後の状況説明を受けました。

付託議案の審査

町道認定の件

現地調査に

●町道1017号線

雨水対策や方向転換場所など確認。審査の結果、全会一致で認定。

●町道吉田青田線

旧県道を町道に移管。県が実施した補修箇所を確認。審査の結果、全会一致で認定。

●陳情

「後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書提出についての陳情書」は、賛成多数で継続審査となりました。



小中学校のトイレを順次 洋式化に

—総務文教福祉常任委員会—

12月4日（金）に総務文教福祉常任委員会を開催し、総務政策部、教育部から議案に関連する事案について説明を受けました。

総務政策部

●町議・町長選挙

一部公費負担に

次の改選時選挙から「選挙運動用自動車の使用」「選挙運動用のポスター作成」「選挙運動用のビラ作成」に係る費用が公費負担されることとなります。

なお、立候補時の供託金制度（供託金額15万円）も導入されます。

●新町まちづくり計画

一部変更へ

合併に伴う地方債特例期限が5年間延長されたことにより、一部計画が変更されました。

教育部

●石垣小学校トイレ

洋式化工事

国の指針において、トイレの洋式化比率（57%）が示されており、本町でも順次、町内小中学校のトイレを洋式化します。

●少年センター

藤並駅に移転

藤並駅内にある「ちいさな駅美術館」を改修し、少年センター事務所にします。

なお「ちいさな駅美術館」の機能はアレックに移ります。



防犯パトロールカー

●藤並館跡

史跡指定へ

11月20日、文化庁から藤並館跡（下津野）の史跡認定が湯浅城とともに発表されました。それを受け、今年度中に国史跡指定の運びとなります。

にぎやかな子どもの声が山里に

あお積木のへや



【町民の皆さまへ】

◎次回定例会の予定

3月定例会は3月2日開会で、一般質問は3月16日、17日に行う予定です。

ぜひ、傍聴にお越しください。

◎請願・陳情の受付

3月定例会での審議を希望する場合は、2月22日までに議会事務局へ提出してください。

お問い合わせ ☎ 22-13294
吉備庁舎4階 議会事務局まで

広報広聴常任委員会

- ◎ 増谷 憲
- ◎ 小林 英世
- 椿原 竜二
- 中島 詳裕
- 星田 仁志
- 岡省 吾

◎は委員長
○は副委員長

編集後記

新年あけましておめでとうございます

早いもので私たちの任期も1年足らずとなりました。残された期間もしっかりと議会活動に取り組んでまいります。

コロナ禍がより深刻さを増す中で、感染防止対策と経済対策を並行して取り組まなければならない現実があり、多くの議論がなされています。

終息の目途が立たない中、社会のあり方が大きく変わろうとしています。

私たち一人ひとりが自覚と責任のある行動を心がけなければなりません。

さて議会では、令和3年中に本会議の「録画配信」を予定しております。

皆さま方に議会をより身近に感じていただければ幸いです。広報「かわら版」とともによろしくお願いたします。(中島詳裕)